

区 分	対 象	主な事業内容	関係部門
バランスのとれた食事を心がけましょう	子ども (保護者)	パパママ教室、離乳食講習会(5か月～8か月頃の子どもの持つ保護者等)、乳幼児健康相談、健診時の個別相談(1歳6か月児、3歳児)	こども家庭課
		幼稚園・保育園での食育指導	学校給食センター 市立保育園・幼稚園
		小学校・中学校での食育指導	学校給食センター 市立小学校・中学校
	一般	食事なんでも相談、市民健康講座、出前講座	健康推進課
		ベジチェックと塩分チェックシートを用いた食生活改善の推進	健康推進課 食生活改善推進協議会
		高齢者の介護予防のための食事講座	高齢福祉課 健康推進課
体 験 いただきますから、はじめましょう	一般	農業体験塾 レジャー農園の貸出	産業課 特産物振興委員会
		料理教室(親子料理教室・生涯学習講座)	産業課 生涯学習課
		子ども食堂	市内子ども食堂事業者 こども家庭課
		健康講座・料理教室	食生活改善推進協議会
		宮重大根栽培体験(種まきから食卓まで)	市立図書館
	保育園	サツマイモ栽培体験(毎年 4/保育園) 宮重大根栽培体験(毎年 2/保育園) 宮重大根収穫体験(毎年 6/保育園)	産業課・特産物振興委員会 市立保育園
地産地消 地元産のものは新鮮・安心です。	小学校	宮重大根栽培体験(春日小学校 3年生)	宮重大根純種子保存会 春日小学校
	一般	市内スーパー等における市内野菜の販売(清洲ふるさとのやかた、飴茶庵、アグリマルシェはるひ等)	-
		地元産野菜(かりもり・西牧にんじん等)を使った特産品開発、販売	西春日井食生活改善実行グループ
情報発信 食の情報を活用しましょう	市立保育園・幼稚園・小学校・中学校	市内野菜を使用した給食の提供	学校給食センター
		ホームページ(食育レポート)	産業課
		食に関する指導・食育講話(幼・保・小・中・保護者)	学校給食センター
		献立だより等で給食レシピの発信	
		広報・cookpad(クックパッド)にてレシピ公開 インターネット・本の活用	健康推進課・産業課 -

清須のおいしい物語

清須食育プラン 2031
第 4 次清須市食育推進計画
令和 7 年度～令和 13 年度



第 4 次清須市食育推進計画が始まります。この計画は清須市として、食育に関する基本的な考え方を示したものです。
2024 年に行った市民の方へのアンケートでは「バランスのとれた食事をとっている」割合が多かった一方で、小学生は「朝食は 1 人で食べる」「嫌いな食べ物があり、食事を残す」が多い傾向にあることがわかってきました。この概要版は、2031 年に向け、これらの課題に対応するための 4 つのポイントをまとめたものです。一人一人がつながって食育の輪を広げていきましょう。



清 須 市

食を取り巻く背景

- ◎ 食を取り巻く自然、社会環境の変化やライフスタイルの変化
- ◎ 地域や伝統的な食文化の喪失
- ◎ 経済の大きな変化による食環境の変化や先の見通しがむずかしい
- ◎ 食育という言葉の認知度・関心の高まりとともに、情報の氾濫や間違った知識の流布による情報の取捨選択の難しさ
- ◎ 食品ロス削減などの持続可能な社会を目指す取り組みの必要性

現 状

(令和6年度 食育に関するアンケート結果などより)

▼ 健康・生活から

- ・ 地産地消・食品ロス削減についての意識が高まっている。
- ・ 偏食をする子が多くなっている
- ・ 家族で食事をする機会が減っている
- ・ 食事を残す理由として、作りすぎ・買いすぎが一番多くみられる。

▼ 生産・流通から

- ・ 地場産食材の流通が少なく、手に入る機会がない
- ・ 一部施設で販売しているだけでは地元の方々しか利用できないため、増産と販路拡大が必要

▼ 教育・行政から

- ・ 朝食を食べない理由として「時間がない」や「食べたくない」といった理由が増えている→食に関する興味関心が薄れてきていると推測
- ・ 農作業の経験等がコロナ感染症の影響が減少している。
- ・ 環境に気を付けて行動している人は、その他の項目にも有意な差がみられる。

課 題

- ▽ 朝食喫食率が減少傾向にあるため、朝食の重要性や意義について知らせる手立てが必要
- ▽ 食に関する情報が必要な人に的確に届いていないので、関心は高まりつつあるが、利用されていない
- ▽ 食品ロス削減に関するさらなる取り組みが必要
- ▽ 主食・主菜・副菜についての理解が必要

清須市らしさ

き 清らかな水と自然を生かしたまち

よ 世に知られた歴史と文化が薫るまち

す すてきに人が育みあうまち

し 食卓と生産地の近いまち

取り組みの柱

食をとおして心身の健康づくりをすすめる

- ◎ 妊娠期、幼児期、成長期の食や健康を大切にする環境づくり
- ◎ 若年層からの生活習慣病予防に取り組む
- ◎ 主要栄養素の著しい不足や過剰摂取の予防に取り組む
- ◎ 食と健康の関係を正しく理解する

食をとおして感謝の心を育む

- ◎ 「いただきます、ごちそうさま」の習慣を身につけ、感謝の心を育む
- ◎ 子どものころから家族で食のマナー、日本の食の伝統・文化等について学べるようにする。
- ◎ 農業体験などをとおして、自然の恵みに感謝する心を育むようにする。
- ◎ 生産から食卓までの食育を啓発する交流の場をつくる。

食をとおして地域づくりをすすめる

- ◎ 地元でとれた野菜の良さを理解して積極的に利用できる環境づくり
- ◎ 子どもたちが、生産から食卓までの過程を正しく知ることができる場をつくる
- ◎ 共食をすることができる場づくりをする
- ◎ 地域で食育を推進するサポーターを養成する

食をとおして適切な情報の活用の輪を広げる

- ◎ 食品成分表示、食品衛生について正しい情報を提供する
- ◎ 地元野菜や郷土料理などの情報を発信する
- ◎ 市のホームページに「食育レポート」を掲載し、食と健康の情報を発信する

め ざ す 姿

一人ひとりが食を正しく理解し、健康な生活を送る

食をとおしてつながり、豊かな環境づくりに参加する

地域の食を大事にし、伝えていく地域の輪をつくる